

## 4年間のS・M・C活動を振り返って

松木 彰造（事務局長・SG常任委員）



HPを覗いて頂くとSGの活動が詳しく報告、紹介されていますので、おわかり頂けると思いますが、S・M・Cを通じて、ここ数年の活動をご報告し、さらなるご理解とご協力を頂きたいと思っております。

S・M・C（SG・マンスリー・クラブ）は、かつてSGの日常活動として実施してきた『ジュニア活動』の後継バージョンです。SGサマーキャンプ（高校生までが対象）に参加した障害児を対象に、高校卒業後も関わりを絶やさないよう、毎月1回皆で集まって何か楽しいことをしようという目的で開始し、今年で丸4年が過ぎようとしています。

本格実施した2010年と2011年は各6回、2012年は雨天中止もあって4回となりましたが、2013年は既に4回実施しており、本年の残りを考慮すると、平均すれば年6回程度になります。

通常、6～9月の4ヶ月間は、キャンプの準備や事後処理に忙殺され日常活動の開催が難しく、また、その他の月でもリーダーの参加状況や他の行事との兼ね合いで、実施できないことがあります。そういう事情で毎月1回開催するには中々無理があり、年6～7回が妥当なところかもしれません。もちろん、それ以上に開催できれば、SG活動は活性化しているという証になります。

S・M・Cは、毎年「お餅つき会」で始まり、クリスマス会を兼ねた「カラオケ大会」でその年のS・M・Cは終わります。その間は季節や皆のニーズにあった行事（お花見、

ハイキング等）をし、チャレンジばかりでなく参加者全員が、結構楽しい時間を過ごしています。

これまでに実施した20回のS・M・Cへの参加者数は、延べ503名（チャレンジド 157名、ヘルパー 42名、保護者 3名、SGリーダー 253名、かたつむり 48名）で、1回平均約25名というところですが、チャレンジドが平均約8名ですから、ちょっと寂しいです。

しかしながら、2012年からはSG委員会が学生中心に構成され、彼らの呼びかけで参加する学生リーダーやチャレンジドの参加が増加傾向にあります。そして「期待されるS・M・C」になりつつことは事実です。

また、新人リーダーや経験の浅いリーダーにとって、S・M・CはSG活動へのソフトな入り口です。気軽に参加でき、知らず知らずの内に歌やゲームも覚え、チャレンジドとも友達になっています。さらに、集合/解散場所での保護者の方々との談笑を通じて、障害児やその家族の課題を知る貴重な機会であり、勉強になることが多くあります。有効に活かしたいものです。

本年後半のS・M・Cは、10月26日に、委員会の中心を担っている学生の母校・大阪行岡医療大学の学園祭の体験ツアー、11月4日は大阪狭山市にある「市民ふれあいの里」で秋の味覚を楽しむ計画です。そして12月は恒例のクリスマス会と、あと3回実施する予定です。

いろいろ課題はありますが、チャレンジドへの“思いやり”をモットーに 1回でも多くのS・M・C活動が実施できるよう、ヤング委員会を中心に全力疾走です。かたつむり21の皆様のご支援をお願いします。

最後に、2年後の2015年には、SG創立50周年を迎えます。この2年間は地道な活動に全力投球し、基盤のしっかりしたSGを構築して50周年を迎えたいものです。



2010年10月S・M・C 平城遷都1300年祭  
『せんと君と写真を撮ろう!!』

## SG後援会「かたつむり21」

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-12

TOWAローゼンビル長堀403

電話・FAX：06-6264-1919

事務局 Mail：qmdtj092@ybb.ne.jp

HP：http://katatsumuri21.jimdo.com/

2013 SGサマー・キャンプ

2013年8月11～13日



猪名川キャンプ場(兵庫・川西市)



### 多くのことを学ばせてもらいました

sub PD 富野 沙綾

私は、大阪行岡医療大学2年の富野沙綾です。普段のSGでは、委員会で書記を務めさせてもらっています。今回のキャンプでは、sub PDという大役をさせて頂きました。

キャンプの企画段階のミーティングから反省会まで参加させて頂き、SGキャンプの大規模さが身に染みしました。歴史の深い、この大阪肢体不自由児サービスグループのサマーキャンプで右も左も解らない中、sub PDという立場に立たされて、普段感じられない場面に遭遇して多くのことを学びました。至らない所や反省点もたくさんあります。

けれど、こんな私を支えてくれた仲間、キャンプを終えて「またね」と笑ってくれたキャンパーを見ると、このキャンプに失敗はないのだと思うことができました。来年を楽しみに待ってくれる人たちに会うために、来年のキャンプも大成功させたいです。参加者【キャンパー：中学・高校生13名、リーダー：延べ58名（内かたつむり9名）】

### SGサマーキャンプに参加して①

今までで一番盛り上がり…



杉浦 誠（キャンパー・中学3年）

1日目は旗と看板作り。しゃべりながら絵を描いたり色を塗ったり。夕ご飯はバイキング。おにぎり、フランクフルト、屋台のおでん…やきそばとポテトをたくさん食べた。2日目はファッションショーの準備。布きれ、手ぬぐい、ダンボール、松ぼっくりで忍者アモンジャの衣装作り。お昼ご飯は流しそうめん。みんなに負けないようがんばって食べた。食堂さんのちらしずしもおいしかった。午後は川遊び。川の水が冷たくて気持ちよかったけど、おしりに石がささって痛かった。

体が冷えてちょっと困った事態に。海に行ったことがないので、来年は海水浴に行きたいな。3日目はファッションショー。アモンジャさんが衣装を着て登場。派手。屋台のゲームも登場。ポーリング、輪投げ、釣り。楽しかった。お昼ご飯はカレーライス。豚肉か鶏肉か謎。お昼ご飯のあと、バスに乗って帰ってきた。

今までのキャンプの中で、いちばんおしゃべりが盛り上がり、とても嬉しかった。来年も楽しみです。

### SGサマーキャンプに参加して②

来年も参加したい！ 齊藤 瑛里（カウンセラー）



私は、今回SGサマーキャンプに初めて参加しました。今まで障がい者と接する機会はあったけど、泊まりで一緒にキャンプを行うといった経験はありませんでした。

事前にキャンプの研修や参加者との面談など準備をしていたけど、実際どのようになるのか不安もありました。班の中には初参加の子もいて、きっと私以上に緊張していたと思うけど、最初は子どもたちと上手く接することもできませんでした。

キャンプ場に到着してから子どもたちと直接話したり、接していくうちに、私自身も子どもたちの緊張もだいぶ和らいだようでした。言葉でコミュニケーションをとることが難しい子にはどう接したらいいかわからない部分もあったけど、3日間一緒にいて今は機嫌がいいのかな、など少し解ることができた気がします。

最初は不安が大きかったけど、3日間キャンパーや他のカウンセラーと接し、陰でキャンプを支えるプロパティさん、食堂さんのお蔭でとても楽しかったです。来年も是非参加したいと思える経験ができたと思います。

## SGサマーキャンプに参加して③



### 最高の思い出です！

**山下 真実**(キャンパー・高校1年)

私の人生の中で初めてのキャンプでした。少し不安もありましたが、当日になると楽しさになりました。

まず、思ったのがお姉さん、お兄さん、皆さんの笑顔が素敵でこの3日間、楽しいことばかりでした。季節柄 私自身は体調に優れないこともありましたが、お世話になった方々に感謝の気持ちとともに、皆さんの笑顔と輝いてる姿に感動しました。

みんなで御飯を作ったり遊んだり、普段できないことなど色々と学ぶことを経験しました。私の中でも自信がつかえました。私の夏休みの最高の思い出です。たくさんの方にお世話になり、本当にありがとうございました。

## 会員だより



### 近況の報告です 苗村 英男

50年近くも前に、SGキャンプに参加した可愛い？障害児もあと数年で還暦を迎えます。障害の有無に拘わらず皆平等に歳を取ります。そして同じように老後を如何に過ごすかを考えるときがあります。

かつては自動車も運転し、一人暮らしをし、夜は飲み歩き、そこそこ楽しい生活を送っていました。会社でも仕事も頑張っていました。そこに自分の障害(脳性マヒ)について考えることなく、今の状態がいつまでも続くと考えていました。

40歳の頃、手足がだるく痺れるようになり、病院で検査してもらおうと、脳性マヒ者に多く起こる二次障害の「頸椎症」でした。無理な姿勢で歩いたりすることで、頸椎の骨が変形磨耗し、神経が圧迫され手足が痺れ歩けなくなるのです。治療方法は手術しかなく、僕も頸椎の手術をし、手足の痺れの進行は止まりました。しかし、車椅子を使用するようになりました。

仕事と体力との兼ね合いを考え、55歳で早期退職。しかし、会社組織に属するのが長ければ長いほど、何も用事のない刺激のない日々の、老いることの恐怖を感じているのが本音です。そして、自分が社会のどの位置にいるのか、誰かに必要とされているのか等と結論の出ないことを考えます。

老いるスピードは健常者の2倍3倍の気がします。何か寂しい近況報告ですね。ただ、あえて二次障害について書いたのは、現在も脳性マヒで頑張っている障害者に自分の障害を知って考えて欲しかったからです。

## 会員短 信 ①

※ かたつむり21の各行事案内での返信はがきやメールでお寄せ頂いたメッセージの一部を抜粋しました。

(順不同・敬称略)

### 松井 加奈子 (三重・伊賀市)

パソコンを久しぶりに開けてみて、今年も猛暑の中キャンプされたんだな?と…メールします。子どもも大きくなり、仕事もそれなりに任され大変になり、家事は手抜きの技を覚えるばかりですが…(苦笑)

あの頃と変わらずSGが活動されていることが、私に励みにもなり、申し訳なくも思い複雑です。でも、SGの経験があって今の私がここに生かされているんだ、と感じます。空はつながっているのに、お手伝いできずごめんなさい。遠い空から育てて頂いたこと感謝して、応援しています。

### 根来 順子 (泉佐野市)

寝たきりになった老犬(ビーグル16歳)まだまだ生きてほしいと家族で介護しています。

### 小西 加保瑠 (尼崎市)

今年は仕事とライフ、そして楽(たのしい・らく)も視野に入れて行こうと思っています。

### 片山 雅子 (川西市)

来年1月の介護福祉士の資格取得に向けて、この4月から学校に通っています。固くなった脳みそで苦勞してます。今年はスクーリングや実習等々…57歳の挑戦です。

### 善野 八千子 (堺市)

竜頭蛇尾にならぬよう、思いつきややりっ放しにならない仕事で「人づくり・町づくり・若づくり」を続けます。

### 村瀬 愛 (尼崎市)

種から育てたパンジーが植木鉢に一杯咲き、メダカの子どもも10匹貰い、ベランダに出るのが楽しみです。

### 森 秀樹 (米国・インディアナ州)

2013年1月が任期満了の予定でしたが、1年延長になりました。いつまで米国にいるか判りませんが、皆さまの活躍に頭が下がる思いです。

### 西川 定男・千恵子 (大阪市)

また一年。廊下が少しでもスロースローでありますようにと願っています。

### 古松 恵美子 (東大阪市)

仕事をしていますが、以前のような働き方をすれば、すぐにくたびれてしまいます。無理がきかない年齢になりつつあると実感しています。

## 2013 能勢オータムキャンプ 開催のお知らせ

### 祝！ 2020年東京五輪・パラリンピック開催決定！

恒例の2013年「能勢オータムキャンプ」のご案内です。

本年9月、アルゼンチンのブエノスアイレスで開かれたIOC総会で、2020年五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定しました。かたつむり21では、ここ数年、オータムキャンプにおいて、いくつかのパラリンピック種目に挑戦してきました。そこで今回は、東京開催決定を記念して、新しい競技種目にも挑戦しようと考えています。と言っても、障害者と一緒に能勢の秋を楽しむレクリエーションです。

もちろん、夜には豪華な夕食（松茸、カニ等々）や、超美味なお酒（能勢の地酒・秋鹿）も用意しております。お知り合いの方もお誘い頂いて、大勢参加して下さい。

- ・と き：2013年11月16日(土) 午後1時（集合）～17日(日)午後5時（解散）
- ・ところ：能勢ダイヘンキャンプ場 電話：0727-37-0080
- ・集合場所：SG/かたつむり21事務所（大阪市中央区南船場1-10-12 TOWAローゼンビル長堀）前  
（往路 事務所前から現地まで乗用車に分乗 帰路 主要ターミナル等最寄り駅まで）
- ・参加費：社会人/3,500円 学生/1,000円 障害者/1,000円 高校生以下/無料
- ・申し込み：案内状添付の返信用はがき、事務局宛のFAX・メールでご連絡下さい

## 会 員 短 信 ②

**松井 怜子**（大阪市）

毎々「かたつむり21」を楽しく拝読させて頂いています。老骨を打つ“鞭”も持ちあぐねている昨今です。

**大西 聖治**（徳島・東みよし町）

工作上、精神障害をお持ちの方と話す機会が増え、この1月に大阪で精神保健福祉士の試験を受け、無事資格を取得しました。

私ももう49歳。昨年、老眼鏡を買いました。できることは限られていますが、「時間がない」という障害児を抱える70歳代の母親の皆さんと小さな一歩が踏み出せたらと思います。

**恩塚 俊男**（河内長野市）

SGは、私が福祉の道に進んだ原点ですので、つながりだけは持ち続けるつもりです。

**原口 和博**（茨木市）

祝・学生委員会誕生！！

**河南 るり子**（鹿児島・阿久根市）

昨年12月初め転倒して、今、全く手に力が入りません。1月4日に再度検査します。昨年、不可解な選挙で新政権が誕生しましたが、憲法改正案やTPP、原発も不安です。正しい情報や大切な情報が目と耳を研ぎ澄まさないと思ってこない気がしています。

## 事務局からのお知らせとお願い

**会費納入のお願い** SGへの支援や本会の運営は、会費に依存しています。滞納されている方は、分割でも結構ですから納入のほどお願いいたします。

## メールアドレス登録（変更）のお願い

かたつむり21では、会員の皆さんにメーリングリスト方式により情報を提供しています。PCメールアドレス（携帯も可）をお持ちの方は、返信はがきに記入してください。変更された場合も、連絡をお願いします。



### 編集後記

2020年、東京五輪・パラリンピックが決まりました。前回の東京大会で、社会全体を大きく包み込んでいた高揚感は、子供心にも忘れ難いものがあります。でも今振り返ってみると「パラリンピックは？」恥ずかしながら、記憶にないのです。東京パラリンピックが、五輪大会に勝るとも劣らぬ盛大に開かれますように。

選手一人ひとりにアスリートとしての精一杯の敬愛と応援を送りたいと思います。7年後、この国の福祉や人々の意識がどんな形になっているのか、しっかりと見極めていきたいと思っています。（伊東久実子）